

第37号は、通常通り26日(火)に発行します。  
第38号は、1日遅れの10月4日(水)に発行します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究課海洋生産技術担当

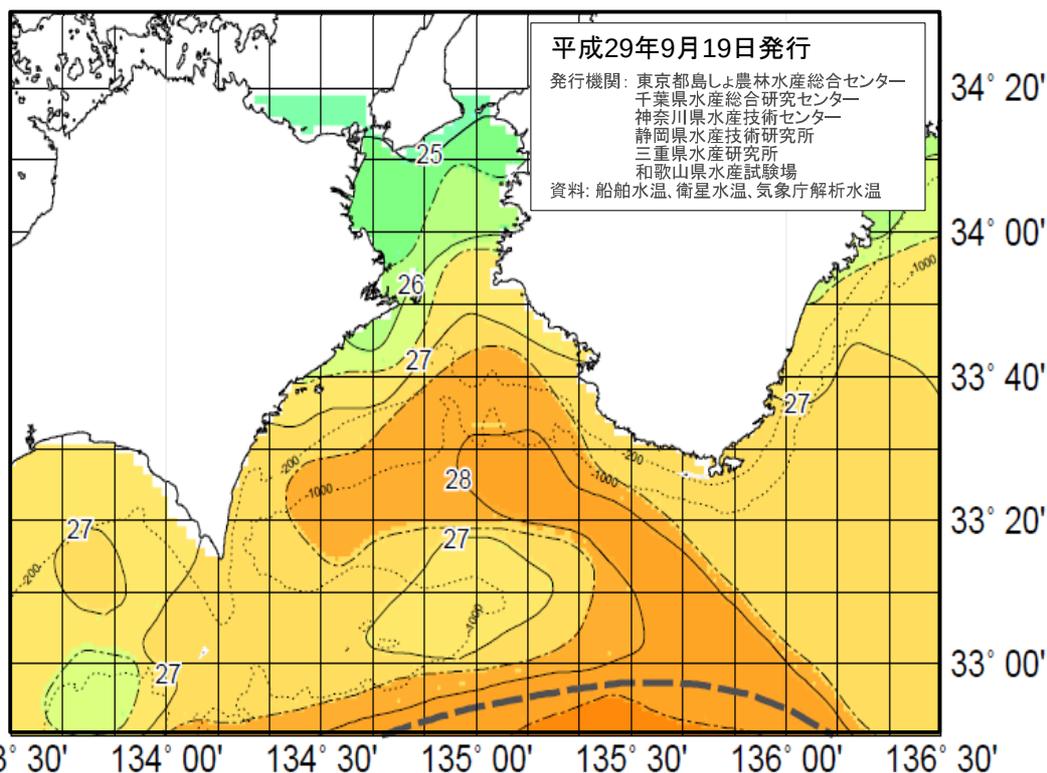
## 海況

### 1. 周辺海域の水温

黒潮は、室戸岬沖では前号時点からやや岸寄りになり「やや離岸」ので推移していたが、台風通過をはさんで19日には再び「離岸」となった模様。潮岬沖では前号時点から引き続き「やや離岸」で推移した。

徳島県沿岸の水温は下がり、播磨灘で24℃～25℃台、紀伊水道で25℃～26℃台、海部沿岸で25℃～27℃台となっている。

黒潮本流の表面水温は、平年並みの28℃～29℃台となっている。

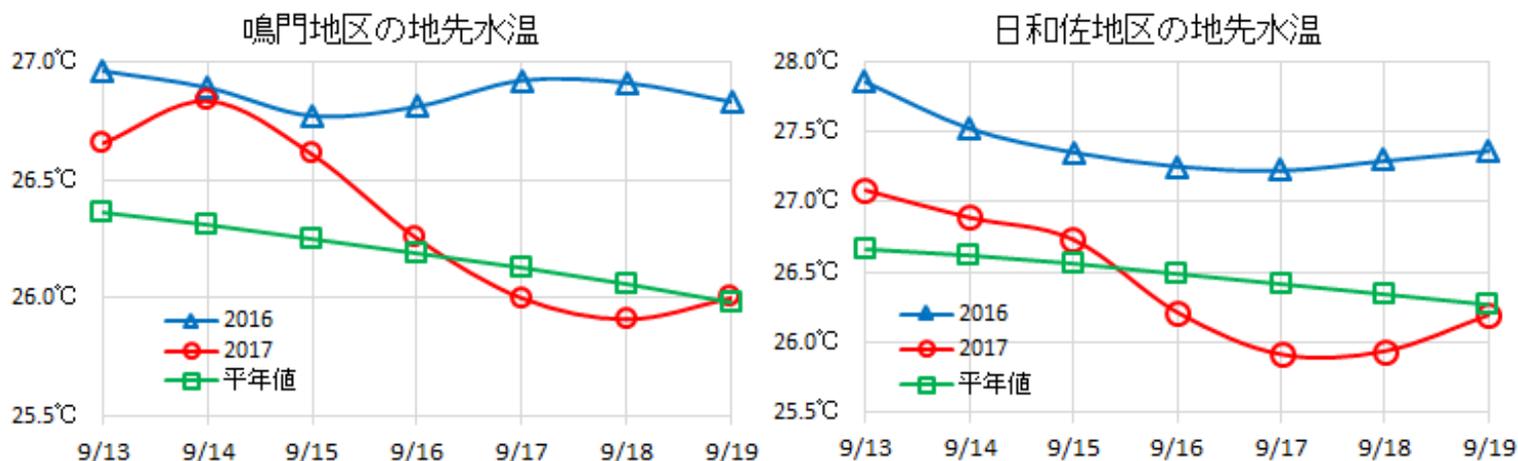


海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、前日分と当日分を掲載しています。

### 2. 地先水温(9月13日～9月19日)

鳴門地区の地先水温は、14日に「やや高め」の26.8℃となったほかは「平年並み」の25.9℃～26.7℃で、台風の通過した17日にかけて大きく低下したが、その後持ち直している。

日和佐地区の地先水温は、おおむね「平年並み」の25.9℃～27.1℃で、15日頃から17日にかけて大きく低下し、17日には「やや低め」となったが、その後持ち直している。



※水温の高低 平年並: 平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5℃以上1.5℃未満  
 高め/低め: 平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5℃以上  
 ※平年値 鳴門地区: 1981年～2015年の平滑平均値、日和佐地区: 1982年～2015年の平滑平均値

### 3. 週間予報(9月20日～9月26日)

黒潮は、室戸岬沖は「やや離岸」で接岸傾向で推移する見込み。潮岬沖は「離岸」となったのち期間終盤に「やや離岸」となる見込み。

地先水温は、鳴門地区は「平年並み」の26℃前後、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の26℃前後で推移する見込み。

**漁況** 2017年9月11日～9月17日（旧暦7月21日～7月27日）

前週に引き続き、この時期珍しく、海部沿岸の近場の漁場で小型のカツオが釣れていた。  
台風通過に伴い、16日、17日には水揚げがなく、船びき網以外では漁獲量が減った。

**1. 紀伊水道(標本漁協数:3)**

船びき網では、出漁当たりの水揚げが大きく増えて、シラスが13.5ト水揚げされた。

延縄では、サワラが減って4.0ト、ハモが前週並みの1.7ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジ、カンパチ、ブリ(つばすサイズ主体)がいずれも減って0.3ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが大きく減って2.8ト水揚げされた。

**2. 海部沿岸(標本漁協数:4)**

釣りでは、カツオが減って小型主体に0.2ト、カマスサワラが増えて0.1ト水揚げされた。カマスサワラはその他の漁法も併せると0.3ト水揚げされている。

延縄では、キダイとアカムツがともに前週並みの0.3ト水揚げされた。

小型定置網では、かます類が前週並みの1.1ト、マアジが減って小小主体に0.5ト、ウルメイワシが0.4ト水揚げされた。

漁獲量集計表(漁獲が0.1ト以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量 (kg)		銘柄	前週比※
				漁獲量	1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	54	シラス	13,500	250		↗
	延縄	53	サワラ	3,989	75		↘
		10	ハモ	1,676	168		→
		49	タチウオ	613	13		→
	小型定置網	9	マアジ	338	38		↘
		12	カンパチ	333	28		↘
		10	ブリ	276	28	つばす主体	↘
		5	かます類	214	43		↗↗
		9	マルアジ	131	15	小主体	↘
		10	ヘダイ	113	11		↗
	底びき網	28	ハモ	2,809	100		↘↘
		15	えそ類	141	9		↘↘
		13	いとより類	118	9	小主体	→
海部沿岸	釣り	14	カツオ	237	17	小・小小主体	↘↘
		7	カマスサワラ	149	21		↗
	延縄	13	キダイ	273	21	大主体	→
		14	アカムツ	272	19		→
	小型定置網	11	かます類	1,060	96		→
		13	マアジ	460	35	小小主体	↘
	3	ウルメイワシ	411	137		↘↘	

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘